

豊野地区公民館・藤塚公民館

◇ 運営の基本方針

利用する人それぞれの心が潤い、かつ魅力あふれる事業を展開するとともに、地域文化の向上を図ることができる生涯学習拠点施設としての公民館を目指す。

◇ 重点施策

- 1 地域住民の学習ニーズを把握し、各層を対象とした学習機会の充実と学習情報の提供を行う。
- 2 青少年の健全育成を図るため、学校週5日制に対応した各種事業を行うとともに、地域のボランティアや青少年の育成などの人材を活用したさまざまな学習を展開する。
- 3 地域・学校・家庭との連携、協力関係を深めるとともに、事業の企画段階からの市民参加を促進する。

◇ 重点事業

- | | |
|--------------|------------------|
| 1 チャレンジ教室 | 2 小・中学生期合同家庭教育学級 |
| 3 子育てふれあいサロン | 4 ふれあい教室 |

豊野地区公民館

所在地 〒344-0013 春日部市銚子口999番地
T E L 048-735-0009
F A X 048-735-0009
E-mail toyonokou@city.kasukabe.lg.jp



豊
野

藤塚公民館

所在地 〒344-0011 春日部市藤塚1670番地1
T E L 048-735-2528
F A X 048-735-2528
E-mail fujitsukakou@city.kasukabe.lg.jp



職 員	館 長（兼務）	村 田	誠
	主 査（兼務）	西	真 輝
	主 任（兼務）	荏 原	淳
	主 任（兼務）	根 本	崇
	フルタイム（兼務）	小 堀	昭

豊野地区 1

事業名 テーマ	公民館利用者のつどい		対 象	豊野地区・藤塚 公民館の利用者 と利用予定者		定員	定めず
ね ら い	公民館利用に関する意見交換やクラブ・サークル同士の交流を通じて、地域におけるよりよい公民館活動のあり方を考える。						
協力機関 及び団体			特 色 位置づけ			SDGs の 目標No	4・11・17
会 場	豊野地区公民館 講堂		教 材 資 料 等	会議資料、公民館利用団体票、 公民館へのご意見・ご要望			
実施までの 経 過	11月24日(木) 実施内容を決裁 12月1日(水) 案内通知の配付 1月1日(木) 公民館だより1月号に 掲載		P R 方法	公民館利用団体へ通知等を窓口 にて配布 公民館だより1月号にて告知			
			受付方法	当日会場で受付			
月 日 (曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男	女	合計	
				計	計		
2月4日 (金)	14:25～14:40	公民館の利用について サークル・団体の運営について 公民館利用申し込み方法について	説明	3	19	22	豊野地区公民館職員
1 回	1 5 分			3	19	22	
企画運営上 の 工 夫	公民館の施設利用についての説明のほか、公民館使用申込み方法などの説明も 行った。 人権教育研修会（ビデオ視聴）を併せて実施した。 ※ 災害時避難訓練も予定していたが、新型コロナウイルス感染防止の観点から 中止とした。						
成 果 参 加 者 の 声 な ど	施設修繕、公民館事業の充実等の要望はなかった。						
課題と展望	今後も公民館運営について、利用者の意見や要望を伺う機会として実施してい きたい。						

事業名 テーマ	小・中学生期合同家庭教育学級	対象	豊野地区小・中学生の保護者、 関心のある方	定員	150名	
ねらい	子どもの発達段階に応じた課題に対する親の在り方を考えるとともに、家庭の役割について認識を深める。					
協力機関 及び団体	主催：豊野小、藤塚小、牛島小、豊野中、 豊野小PTA、藤塚小PTA、 牛島小PTA、豊野中PTA 託児協力：更生保護女性会豊野支部	特色 位置づけ	重点事業	SDGs の 目標No	4・11	
会場	豊野地区公民館 講堂	教材等 資料	講演会資料			
実施までの経過	新型コロナウイルス感染 拡大防止のため中止	PR方法				
		受付方法				
月日（曜）	時間	内 容	方法	参加者		講師・助言者の職名 氏 名
				男	女	
回数	総時間数			計	計	
0 回	0 時間			0	0	0
企画運営上の工夫						
成果 参加者の 声 など						
課題と展望	参加者のニーズに合った内容で企画、実施できるようにするため、日頃から豊野地区内小・中学校、PTAと情報の共有に努めたい。					

豊野地区 3

事業名 テーマ	子育てふれあいサロン		対 象	0歳～5歳児とその保護者		定員	5～10組
ね ら い	乳幼児の自由な遊び場として、また育児への不安や悩み、ストレスの解消のための保護者の交流・情報交換の場として開設する。						
協力機関 及び団体	更生保護女性会豊野支部		特 色 位置づけ			SDGs の 目標No	4・11
会 場	豊野地区公民館 講堂・和室Ⅱ 藤塚公民館 大会議室・和室		教 材 資 料 等				
実施までの 経 過	順次、講師打合せ 事業内容確定後、開催 周知		P R 方法	公民館だよりに記事掲載 子育て情報メール配信			
			受付方法	事前申込み制			
月 日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
4月15日	10:00～	ママヨガ&ベビーマッサージ	中止	3	7	10	今道 シャオレイ
5月20日	11:30	親子で楽しい リトミック		3	5	8	森田 美那子
6月17日	すべて(木)	わくわく！リトミック		2	8	10	栗岡 一矛
7月15日		だっこフラ		1	7	8	由利 明美
8月19日		リズム健康体操		3	7	10	錦織 章子
9月16日		図書館職員による読み聞かせ				0	庄和図書館
10月21日		免疫力アップの呼吸法と ベビーマッサージ（足もみ）		1	9	10	神田 廣美
11月11日		ピエロさんと遊ぼう！		2	8	10	安藤 茂雄
12月16日		クリスマス会		4	16	20	山森 澄子
1月20日		親子ビクス		4	6	10	加藤 啓子
2月10日			中止			0	
3月17日			みー先生のおかしな世界	中止		0	木村 操
小計 9回	13時間 30分			23	73	96	
4月27日	10:00～	折り紙でかぶとづくり	中止	1	3	4	森脇 美知代
5月25日	11:30	ピエロさんとあそぼう！		5	7	12	安藤 茂雄
6月22日	すべて(火)	親子ヨガ		3	9	12	今道 シャオレイ
7月27日		リズム健康体操				0	錦織 章子
8月24日				中止		0	
9月28日				中止		0	
10月26日				中止		0	
11月30日				中止		0	
12月21日				中止		0	
1月25日				中止		0	
2月15日			折り紙でお雛様をつくろう	中止		0	森脇 美知代
3月8日			親子ビクス	中止		0	加藤 啓子
小計 3回	4時間 30分			9	19	28	
1 2回	1 8時間			32	92	124	
企画運営上 の 工 夫	・予約定員制とし、来場者の把握、検温、手指アルコール消毒の徹底をはかった。 ・参加者の間隔を十分に空けるとともに、窓を常時開放し換気を行った。 ・講師と参加者との距離を十分にとるとともに、講師には打合せの段階から、感染症対策の徹底を依頼した。						
成 果 参加者の 声 など	・参加者からは、「とてもわかりやすく教えてくれました。勉強になりました」「あそびのアイデアがたくさんあって、親も勉強になりました」など、大変満足した、また実施して欲しいという意見が多かった。 ・密を避けるため募集人数を少なく設定したので、講師の指導が行き届きやすかった。						
課題と展望	・参加者が少しでも子育てに対する不安が解消できるような居場所の提供を心掛ける。 ・引き続き、感染拡大防止対策を講じていく必要がある。						

事業名 テーマ	みんなでピンポン	対象	子ども～一般	定員	16名		
ねらい	子どもから大人までが自由に卓球を楽しめる機会をつくり、卓球を通じて交流・親睦を深めるとともに、健康の増進を図る。						
協力機関 及び団体	レインボー卓球クラブ	特色 位置づけ	学校週5日制対 応事業	SDGs の 目標No	3・4・11		
会場	豊野地区公民館 講堂	教材 資料等	卓球台・ネット・ラケット・ボール				
実施までの経過	新型コロナウイルス感染 拡大防止のため中止 ※ 令和4年度に向けて 12月 協力団体と打合せ 1月14日(金) 実施要項決裁	PR方法					
		受付方法					
月日(曜)	時間	内容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
0回	0時間			0	0	0	
企画運営上の工夫							
成果 参加者の 声など							
課題と展望	多くの参加者に卓球を楽しんでもらえるよう、他の事業の開催日と調整しながら実施していきたい。						

豊野地区 5

事業名 テーマ	ふれあい教室		対 象	一般		定 員	20名 (健康づくり15名)
ね ら い	地域に根ざした学習機会をつくとともに、参加者同士の交流を図ることにより、地域の連帯感を高めることを目指す。						
協力機関 及び団体	文化財保護課		特 色 位置づけ	重点事業		SDGs の 目標No	4・11
会 場	豊野地区公民館 講堂		教 材 資 料 等	講座により異なる。			
実施までの経過	順次、講師折衝 事業内容確定後、周知		P R 方法	公民館だより掲載、公民館ブログ掲載、館内ポスター掲示、チラシ配布			
			受付方法	事前申し込み制			
月 日 (曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
6月27日(日)	14:00～15:30	国史跡神明貝塚展示説明会	講義	12	3	15	文化財保護課学芸員
11月25日(木)	10:00～12:00	押し花のカレンダーづくり	実技	0	19	19	サクラ草押し花クラブ 大石昭子ほか3名
12月2日(木)	9:30～11:30	和紙で干支の寅(とら)づくり	実技	1	18	19	豊野折り紙サークル 森脇美知代ほか2名
1月27日(木)	10:00～12:00	楽しんで心の健康づくり ～笑って！歌って！からだもこころもポッカポカ～	実技	0	13	13	日本レクリエーション協会 公認指導者 山森澄子 ピアノ、エレクトーン、ヴィオラ、 大正琴教室主宰 栗岡一矛
4 回	7 時間30分			13	53	66	
企画運営上の工夫	・レクリエーション事業にふさわしいように、各地区公民館など多方面で活躍している講師に依頼した。 ・健康体操や歌、レクリエーションをとおして参加者どうしが交流できるような内容とした。 ・本年度から会場を1階講堂に変更し、高齢者が参加しやすいようにした。 ・受付開始時に作品の見本を窓口に展示し、参加者を募った。 ・感染症予防対策(手指消毒・マスクの着用・換気の実施)を行った上で実施した。						
成果の 参加者の 声 など	神明貝塚説明会では、「貝塚から4千年近く前の縄文人が何を食べどのように生活していたのか知ることができることに、改めて遺跡保存や調査の重要性を感じた」「とてもくわしく教えて下さり、楽しかった。わからないことも聞くことができ、充実した時間だった」「大変わかりやすい説明で、満足した。ビデオはYou-Tubeで再度見たいと思う」との声が寄せられた。 押し花のカレンダーづくりでは、「ていねいに教えてくださり、だんだん形になってゆくの楽しかった」「楽しみにしていた押し花カレンダーができた。十二支集めるのが楽しみ」との声が寄せられた。 和紙で干支の寅(とら)づくりでは、「毎年期待をもって楽しみにしている。来年(うさぎ)が楽しみです」「とてもすてきな作品ができてうれしい。毎年干支シリーズはうれしいです」「アシスタントの方のお手伝いのおかげで無事作れた」との声が寄せられた。 楽しんで心の健康づくりでは、「やさしい体操で長く続けられそう」「ポッチャを初めてやった。新しいことを知るのは楽しい」との声が寄せられた。						
課題と展望	アンケート結果を踏まえ、初心者でも参加しやすく、参加者の満足度を得られるような事業を展開していきたい。 また、例年実施してきたサマーミュージックフェスティバルは、新型コロナウイルス感染状況を注視しながら準備を進めていきたい。						

事業名 テーマ	チャレンジ教室		対 象	子ども～一般		定員	けん玉20名 折り紙15名
ね ら い	新しいことに挑戦するためのきっかけとなるような体験学習の機会をつくる。						
協力機関 及び団体			特 色 位置づけ	重点事業		SDGsの 目標No	3・4・11
会 場	豊野地区公民館 講堂		教 材 資 料 等	講座により異なる。			
実施まで の 経 過	順次、講師と打合せ 事業内容確定後、周知		P R 方法	公民館だより掲載 チラシ配布、ポスター掲示			
			受付方法	事前申し込み制			
月 日 (曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
4月7日(水)	1.5	TYNけん玉クラブ	体験	1	8	9	内牧地区公民館職員 豊野地区公民館職員
4月14日(水)	1.5	〃	体験	2	11	13	
4月21日(水)	1.5	〃	体験	4	8	12	
4月28日(水)	1.5	〃	体験	4	9	13	
5月12日(水)	1.5	〃	体験	1	6	7	
5月19日(水)	1.5	〃	体験	0	15	15	
5月26日(水)	1.5	〃	体験	1	12	13	
6月2日(水)	1.5	〃	体験	0	13	13	
6月9日(水)	1.5	〃	体験	0	12	12	
6月16日(水)	1.5	〃	体験	1	14	15	
6月23日(水)	1.5	〃	体験	0	12	12	
6月30日(水)	1.5	〃	体験	0	10	10	
7月7日(水)	1.5	〃	体験	0	11	11	
7月14日(水)	1.5	〃	体験	0	7	7	
7月21日(水)	1.5	〃	体験	0	4	4	
7月28日(水)	1.5	〃	体験	0	6	6	
8月4日(水)	1.5	〃	体験	1	4	5	
8月11日(水)	1.5	〃	体験	1	5	6	
8月18日(水)	1.5	〃	体験	0	6	6	
9月15日(水)	1.5	〃	体験	0	6	6	
9月22日(水)	1.5	〃	体験	2	10	12	
9月29日(水)	1.5	〃	体験	4	12	16	
10月6日(水)	1.5	〃	体験	7	11	18	
10月13日(水)	1.5	〃	体験	5	14	19	
10月20日(水)	1.5	〃	体験	2	18	20	
10月27日(水)	1.5	〃	体験	3	9	12	
11月10日(水)	1	〃	体験	5	12	17	
11月17日(水)	1	〃	体験	6	8	14	
11月24日(水)	1	〃	体験	4	8	12	
12月1日(水)	1	〃	体験	2	6	8	
12月8日(水)	1	〃	体験	3	4	7	
12月15日(水)	1	〃	体験	2	7	9	
12月22日(水)	1	〃	体験	2	7	9	
1月12日(水)	1	〃	体験	3	9	12	
1月19日(水)	1	〃	体験	3	6	9	
3月23日(水)	1	〃	体験	0	3	3	
3月30日(水)	1	〃	体験	1	5	6	
10月2日(土)	10:00～12:00	チョビツとむずい折り紙教室	体験	2	10	12	桃園幼稚園園長 内田 豊信
38回	52時間			72	338	410	
企画運営上 の 工 夫	主に青少年を対象にした講座を企画し、体験学習の機会を設けた。 けん玉クラブの実施時間は16:00～17:30までを原則としたが、日が暮れる時刻が早い冬季は17時の終了とし、参加者の帰宅の安全に配慮した。 感染症予防対策（手指消毒・マスクの着用・換気の実施）を行った上で実施した。						
成 果 参 加 者 の 声 な ど	講師の指導・助言により、参加者は集中して真剣に取り組んでいた。けん玉クラブでは高齢者の参加もあって世代間交流の場ともなり、大変好評だった。折り紙教室ではアンケートに「すごく楽しかった」「楽しかった」と答え、再度の実施を求める声もあった。						
課題と展望	今後も新しいことに挑戦するきっかけづくりとなるような事業展開をしていきたい。						

豊野地区 7

事業名 テーマ	必ず役立つ入門講座 ① 防犯・消費生活講話 ② スマートフォン体験教室		対 象	一般		定 員	① 40名 ② 15名
ね ら い	① 市内での犯罪や交通事故の発生状況、消費生活上のトラブル事例を知り、被害に遭わないための方策などを学ぶとともに、それを周りの人へと伝えていただくことにより市民生活上の安全に寄与する。 ② 日常生活を営む上で、欠かすことのできないツールとなりつつあるスマートフォンの体験学習を通して消費生活の向上を図る。						
協力機関 及び団体	① 春日部警察署、交通防犯課 ② ドコモショップ イオンモール春日部店		特 色 位置づけ			SDGs の 目標No	4・11
会 場	豊野地区公民館 研修室		教 材 資 料 等	① シニア向け・一般向けスマートフォン			
実施ま での 経 過	① 7月16日(金) 講師打合せ 7月21日(水) 実施要綱決裁 7月21日(水) 講師依頼 7月21日(水) かすかべし出前講座受講申請 8月1日(日) 公民館だより8月号掲載		P R 方法	・ 公民館だより掲載 ・ 館内ポスター掲示 ・ チラシ配布			
	② 11月19日(金) 協力団体に協力打診 11月30日(火) 協力団体と打合せ 12月16日(木) 実施要項決裁 12月24日(金) 公民館だより1月号掲載 1月19日(水) 協力団体からの申し出により中止 ※ 予定日:1月26日(水)		受付方法	豊野地区公民館窓口若しくは電話で受付。先着順			
月 日 (曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
9月15日(水)	10:00～11:50	① ・ 豊野地区周辺の犯罪・交通事故の発生状況と対策について ・ 振り込め詐欺被害の現状と対策について ・ 消費生活におけるトラブルの事例とその対策について ② 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	講義	3	16	19	① 春日部警察署豊野駐在所 富田 恵介 交通防犯課職員 春日部市消費生活センター消費生活相談員
1 回	1 時間50分			3	16	19	
企画運営上 の 工 夫	① ・ 高齢者に接する機会の多い、地区の民生児童委員協議会に声をかけて受講者を募った。 ・ 交通事故の講話では自転車を持ち込んで具体的に説明した。振り込め詐欺の講話では感性に訴えるためDVDを上映。消費生活講話ではパワーポイントを投影・画面資料を配布した。 ・ 感染予防対策（手指消毒・マスクの着用・換気の実施・適度な間隔を保った座席の配置）を行った上で実施した。 ② 企業の社会貢献活動を活用して企画した。						
成 果 参 加 者 の 声 な ど	① ・ 普段、気をつけているつもりですが、定期的にお話を聞くことで、気が引きしまります。周りの人たちと一緒に気をつけたいと思います。 ・ 大変参考になりました。だまされないようにしましょう。 ・ 大変勉強になりました。高齢者の方にも話してあげたいと思います。 ・ 契約、口約束、クーリングオフ。間違っていました。勉強になりました。 ・ 地域の高齢者がじかに話が聞けるといいと思いました。早くコロナがなくなりますように。						
課題と展望	参加者のニーズに合った内容で企画、実施できるようにするため、日頃から公民館利用者等との情報共有に努めたい。 特に②では、1テーマ30分で予定していたが、内容が多岐にわたったため、予定時間内に終わらせることができなかった。今後は分割しての実施も考えていきたい。アンケートでは記入者19名中17名が「満足」、2名が「やや満足」と答えており、今後も参加者の満足度を得られるような事業を展開していきたい。						

事業名 テーマ	伝統芸能講座 獅子舞見学ツアー	対象	一般	定員	10名		
ねらい	銚子口香取神社に奉納される春日部市指定無形民俗文化財の「銚子口の獅子舞」を広く地域の方へ広げていく。						
協力機関 及び団体	文化財保護課	特色 位置づけ		SDGs の 目標No	4・11		
会場	銚子口香取神社境内	教材等 資料	文化財保護課のテキスト				
実施までの経過	新型コロナウイルス感染 拡大防止のため中止	PR方法					
		受付方法					
月日（曜）	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
0回	0時間			0	0	0	
企画運営上の工夫							
成果 参加者の 声など							
課題と展望							

事業名 テーマ	人権教育研修会		対 象	公民館利用団体	定員	50名	
ね ら い	豊かな人間関係づくりを目指して、様々な人権について認識を深める。						
協力機関 及び団体	社会教育課		特 色 位置づけ		SDGs の 目標No	4・10・11	
会 場	豊野地区公民館 講堂		教 材 資 料 等	視聴覚センター所有の人権啓発DVD			
実施までの 経 過	11月24日(水) 実施内容を決定 12月1日(水) 案内通知の配付 12月15日(水) DVD借用予約 1月1日(土) 公民館だより1月号 掲載		P R 方法	案内通知 公民館だより1月号			
			受付方法	対象が限られているため、事前 申し込みはせず、当日受付にて 参加者名簿を作成			
月 日 (曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男	女	合計	
				計	計		
2月4日(金)	14:00～14:25	DVD「知りたいあなたのこと～外見からはわからない障害・病気を抱える人～」を視聴	視聴	3	19	22	豊野地区公民館職員
1 回	2 5 分			3	19	22	
企画運営上の工夫	公民館利用者のつどいと同時に開催することにより、より多くの利用者に研修へ参加してもらえようにした。						
成 果 参加者の 声 など	外見からはわからない障害・病気を抱える人の人権という身近なテーマを取り 上げることにより、人権について再考するよい機会とすることができ、参加者 からも同様の声が聞かれた。						
課題と展望	利用者のつどいと同時に開催しているため、参加者が限定されてしまう。 より多くの市民に参加していただくため、様々な人権について、受講機会の創 出に努めていきたい。						

事業名 テーマ	令和3年度 豊野地区体育祭	対象	地区内在住・在勤者	定員	定めず		
ねらい	地区内のスポーツの普及発展に努め、地区住民の健康増進及び親睦を図る。						
協力機関 及び団体	主催) 春日部市・豊野地区自治会連合会・ 豊野地区公民館・藤塚公民館 主管) 豊野地区体育振興会 後援) 春日部市コミュニティ推進協議会	特色 位置づけ		SDGs の 目標No	3・4・11		
会場	藤塚小学校 校庭	教材 資料等	プログラム・競技台本等				
実施までの経過	新型コロナウイルス感染 拡大防止のため中止	PR方法					
		受付方法					
月日(曜)	時間	内容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
0回	0時間			0	0	0	
企画運営上の工夫							
成果 参加者の 声など							
課題と展望							

事業名 テーマ	第47回 豊野地区文化祭		対象	一般	定員	定めず	
ねらい	公民館利用団体をはじめ、地区内の芸能・芸術団体の活動成果を発表する場として、また地域住民のふれあいの場として開催する。						
協力機関 及び団体	豊野地区文化連盟		特色 位置づけ	春日部市民の日記念 かすかべ遊学フェス ティバル2021参加事業	SDGs の 目標No	4・11	
会場	豊野地区公民館 研修室Ⅰ・Ⅱ		教材 資料等	プログラム等			
実施までの経過	5月27日	遊学フェスティバル参加事業申込	PR方法	・公民館だより8月号に参加募集記事掲載 ・プログラムの全戸配布			
	8月1日	参加申込書配布開始					
	9月11日	参加申込締切り	受付方法	入退場確認票を用いて、入館時に名前・連絡先・入場時刻を、退館時に退場時刻を記録した。入退場確認票は1か月間保管した。			
	9月14日	農協駐車場借用依頼					
	9月18日	文化連盟企画委員会					
	10月16日	文化祭代表者会議					
	10月20日	市民活動総合補償保険申込					
	11月1日	プログラム全戸配布					
	11月4日	来賓招待状発送					
	11月13日	文化祭前日準備					
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
11月14日(日)	10:00～14:00	芸術団体の作品展示	発表	16	90	106	
1回	4時間			16	90	106	
企画運営上の工夫	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来場者には、入館時における名前・連絡先・入退場時刻の記録に協力を求めた。また、館内における①マスクの着用、②入館時の検温・消毒の徹底、③三密の回避、④近距離での会話や発声の抑制を求めた。 ・待合室の講堂で豊野地区災害対策協議会の活動の内容を紹介する資料や機器の展示を併せて行い、地区住民の防災意識の向上を図る場を提供することができた。						
成果 参加者の声など	新型コロナウイルス感染拡大防止のため展示部門のみの開催となった。開催時間を短縮したが、来場者は熱心に展示作品をご覧になり、日頃の学習・制作活動の成果を発表することができた。						
課題と展望	従前からの課題ではあるが、20代から50代までの若年層・中年層の割合は全体的に低い。従って、子どもや子育て中の親などの世代でも楽しめる企画を取り入れるなど、若年層・中年層を増やしていく創意工夫が必要となる。						

事業名 テーマ	第13回 健康を考えるつどい		対 象	一般		定員	40名
ね ら い	健康でいきいきとした生活を送るため、日頃の健康管理について考える。						
協力機関 及び団体	共催：社会福祉協議会豊野支部		特 色 位置づけ			SDGs の 目標No	3・4・11
会 場	豊野地区公民館 講堂		教 材 資 料 等	レジュメ（講師用意）			
実施までの 経 過	7月16日（金）社協豊野支部と協議 8月20日（金）社協豊野支部と協議		P R 方法	社協の各団体を通じて参加者を募った。			
			受付方法	当日会場で受付			
月 日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男	女	合計	
				計	計		
10月13日（水）	13:30～15:00	講演・実技 「導引養生功による健康法」	講演	17	18	35	埼玉県導引養生功協会 副会長 鈴木 郁夫
1 回	1 時間30分			17	18	35	
企画運営上の 工 夫	・ 共催団体の春日部市社会福祉協議会豊野支部と協議を重ね、内容を決定した。 ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今回は一般募集は行わず、社会福祉協議会豊野支部構成団体から参加者を募った。 ・ 旧南彩農協豊野支店の駐車場の一部を借用し、臨時駐車場を設けた。 ・ 感染予防対策（手指消毒・マスクの着用・換気の実施・適度な間隔を保った座席の配置）を行った上で実施した。						
成 果 参 加 者 の 声 な ど	「とてもわかりやすく、話が楽しかった。」などの感想が寄せられ、大変好評だった。						
課題と展望	・ 講演内容や講師を検討し、魅力あるつどいにしていきたい。 ・ 実施にあたっては、公民館と社会福祉協議会とがそれぞれ役割を分担し、連携を密にして取り組んでいきたい。						

事業名 テーマ	豊野キッズフェスタ	対象	小学生以下	定員	定めず		
ねらい	地域子どもたちが楽しめる場を提供し、ものづくりなどの体験や鑑賞を通して、豊かな成長発達に寄与するとともに、公民館の利用が少ない主に小学生を対象に「キッズフェスタ」を開催することで、公民館利用の若年化を図る。						
協力機関 及び団体	共催： 豊野地区文化連盟 豊野地区自治会連合会	特色 位置づけ	ボランティアスタッフの協力を得て、事業を実施	SDGs の 目標No	4・11		
会場	豊野地区公民館 全館	教材等 資料	プログラムにより異なる				
実施までの経過	新型コロナウイルス感染 拡大防止のため中止	PR方法					
		受付方法					
月日（曜）	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
0 回	0 時間			0	0	0	
企画運営上の工夫							
成果 参加者の 声 など							
課題と展望							

事業名 テーマ	ロビー展	対象	地区内利用団体	定員				
ねらい	公民館活動等の成果の発表の場として、公民館1階ロビーを展示スペースとして活用する。							
協力機関 及び団体		特色 位置づけ		SDGs の 目標No	4・11			
会場	豊野地区公民館 1階ロビー	教材 資料等						
実施までの経過	新型コロナウイルス感染 拡大防止のため中止	PR方法						
		受付方法						
月日（曜）	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
				男	女	合計		
回数	総時間数			計	計			
0回	0時間			0	0	0		
企画運営上の工夫								
成果 参加者の 声など								
課題と展望	展示したことがない公民館利用団体等に声を掛け、様々なジャンルの作品が展示できるように出展をさらに促進する。							

事業名 テーマ	公民館だより「とよの」の発行		対 象	地区内全世帯		定員	印刷部数 6,600枚	
ね ら い	公民館事業の案内や報告、地区内社会教育団体の行事や会員募集記事などを掲載し、学習情報を提供する。作成にあたっては、公民館に親しみを感じてもらえる情報媒体とする。							
協力機関 及び団体	豊野地区自治会連合会		特 色 位置づけ			SDGs の 目標No	4・11	
会 場			教 材 資 料 等					
実施までの経過	毎月上旬	公民館だより原稿 職員打合せ 原稿作成・校正 印刷 発行	P R 方法	市役所ホームページへ掲載 公民館ブログへ掲載				
	毎月中旬 毎月下旬 毎月1日		受付方法	掲載依頼記事は前月10日まで				
月日（曜）	時 間		内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数				男 計	女 計	合計	
毎月		公民館事業の案内など A4判両面刷り						
12回								
企画運営上の工夫	毎月の発行にあわせて、公民館だよりの割付案の段階から職員で打合せをする機会を設け、案を出し合い、地域住民にむけてより見やすく、わかりやすい、魅力ある紙面づくりに努めた。							
成果参加者の声など	主催事業参加者へのアンケート結果によると、参加した方の多くが公民館だよりを見て情報を得たと回答しており、事業実施のうえで欠かせない広報手段になっている。							
課題と展望	来年度も、毎月発行を継続し、事業の開催時期に合わせた広報に努め、地域住民にむけて公民館に親しみを感じてもらえるような紙面づくりを心がけたい。							